

Topics

患者に優しい多彩なサービスで再オープン
タイムス八重洲クリニック

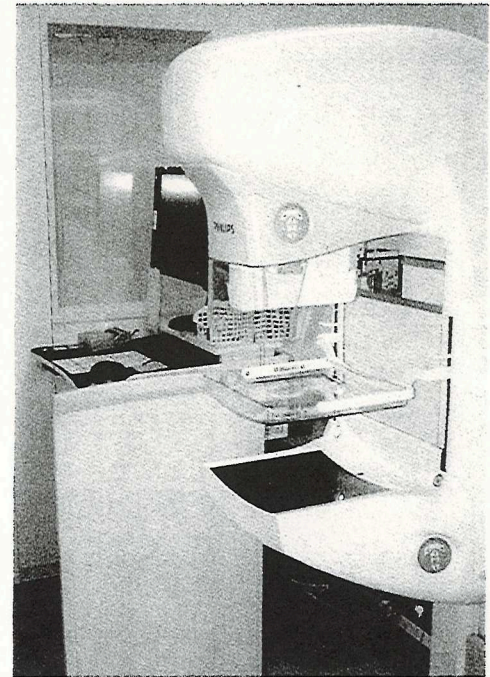
関東、東北、北海道、さらにはハワイに病院、介護老人保健施設、有料老人ホームなど69施設を有する日本最大級の医療グループであるIMSグループは5日、タイムス八重洲クリニック（三輪一彦院長）をリニューアルオープンした。

同クリニックは、2003年より東京駅八重洲北口で、人間ドック、健康診断を行ってきたが、手狭になったことと、さらなるサービス向上のため、近郊の京橋エリアでの再オープンとなった。

リニューアルにあたって特に力をいれたのが、マンモグラフィ検査。最新機種により胸部のフォルムに沿ってのスキャンが可能となり、あわせて低被曝でありながら高画質な画像が入手できることに。また経口のみであった内視鏡検査も、経鼻内視鏡を導入。FICEと呼ばれる最新画像により、今まででは分かりにくかった患部もクリアに判断できること

になった。その他にも低被曝なCT検査によって内臓脂肪率を測定する検査を新たにスタート。月曜日を女性専門のレディースデイとしたり、広く明るい保健指導室を設置するなど、患者に優しい多彩なサービスを展開している。

従来のクリニックでは、1日57人程度の健診者数であったが、新たなクリニックでは80人まで対応可能なキャパシティに。オープン直後から今まで同様の健診者数となっているという。



最新鋭の機器を導入した